

共同運営部門：手術部

—関係部署—

手術室
麻酔科
外科系各科
腎臓内科
血液内科
臨床工学科

—概要—

手術部は4階に手術室6室を有し、手術部運営委員会が管理、運営している。主な関係部署としては、手術室、麻酔科、手術を行う外科系各科、腎臓内科(シャント関連の手術)、血液内科(骨髄採取)、臨床工学科があげられ、場合によっては臨床検査技師、薬剤師、助産師、事務、通訳等の職種や、小児科、循環器内科などの医師とも協働している。2021年度は、手術部運営委員会委員長の小林麻酔科主任部長が手術部長を務めた。手術室看護師は、南 昌子看護師長、桑原深雪副看護師長、濱上文信副看護師長を含め31名からなり、予定、緊急手術の全てに対応している。

手術室は6室のうち5室を予定手術用とし、原則として1室は緊急手術用に空けている。当センターには、泉州広域母子医療センター、心臓・血管センター、脊椎センター、人工関節センターなどが存在し、緊急度の極めて高い緊急手術が頻繁に発生するため、このような措置をとっている。

2021年度の予定手術枠は、以下の通りであった。

	月	火	水	木	金
1	外科	外科	外科	整形外科	心臓血管外科
2	外科	口腔外科	外科	形成外科	脳神経外科(血液内科) 産科
3	整形外科	脳神経外科	泌尿器科	外科	形成外科(第1・3週) 泌尿器科(第2・4・5週) 外科(第1週) 泌尿器科(第2~5週)
4	心臓血管外科	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	外科 泌尿器科(第2週) 産科	心臓血管外科	外科 泌尿器科
5	呼吸器外科	準緊急 形成外科	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	口腔外科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科(第4週)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科 救急科 腎臓内科
6	緊急	緊急	緊急	緊急	緊急

—実績—

2021年度の月別総手術件数および全身麻酔下手術件数を図1に示す。COVID-19の流行により、不要不急の手術を控えた期間があったためと、麻酔科常勤医数が減ったため、手術件数は減少した。年間総手術件数は3,066件、麻酔科管理症例数は2,578件、全身麻酔下手術は2,265件であった(アンギオ室内の手術は含まず)。

2021年度の月別手術室利用率は、COVID-19の流行による手術患者用病床数の減少と、麻酔科常勤医数減少に

よる手術枠削減のため、算出されていない。

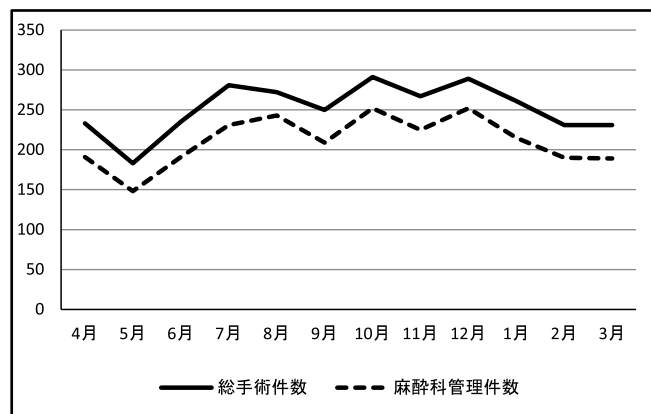


図1 2021年度手術実績

—今年度の成果と反省点—

2020年1月頃から世界的に流行したCOVID-19は、当院麻酔科、手術室にも大きな影響を与えた。院内他部署とも連携し、手術患者のスクリーニング、COVID-19陽性患者への手術対応、手術室スタッフの個人防護具(PPE)、手術室の選定や清掃、麻酔器具、手術器具等の滅菌方法などについて議論検討し、手術室マニュアルを作成した。

また2021年度には、麻酔科常勤医数が減少し、非常勤医で補填したことも、手術数減少の原因となった。非常勤医を使っても、麻酔管理のクオリティを落とさぬよう細心の注意を払った。

—来年度への抱負—

2022年度もCOVID-19の流行は続くと予想される。COVID-19患者の手術と通常手術はいずれも重要であり、両者をバランスよく受け入れていく所存である。一方で手術室スタッフが疲弊しないよう、ワークライフバランスに注意しながら、運営していきたい。新年度には麻酔科常勤医数も増加する予定である。